

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	たいことしばいのたまっこぞ		
	制作団体名	一般社団法人太鼓と芝居のたまっ子座		
	代表者職・氏名	代表理事 瀬沼妙子		団体ウェブサイトURL http://www.interq.or.jp/drums/tamakko/
	制作団体所在地	〒 197-0003	最寄駅(バス停)	JR青梅線 拝島駅
		東京都福生市熊川1346-2		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	平成28年 5月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表理事 瀬沼妙子	代表理事1名 正会員3名 事務局員1名 代表理事の承認を受けた個人又は団体	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	末永桂子
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	福本早希
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		tamakkoza@gmail.com		0425520046

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p><1985年3月>公演団体「太鼓と芝居のたまっ子座」創立・旗揚げ公演実施 以来、本公演・研究公演他、首都圏を中心に保育園、幼稚園、児童館、子ども劇場・おやこ劇場公演等、開始</p> <p><1987年>学校公演(芸術鑑賞教室)、開始</p> <p><1988年>アシテジ世界大会西ドイツ公演招聘。以来、スペイン、フランス、イギリス、ルーマニア、トルコ、USA、カナダ、オーストラリア、シンガポール、韓国、台湾、中国等海外公演多数</p> <p><1988、92年>厚生省中央児童福祉審議会推薦授与「こっからまつり」「いちにのドン」児童館巡回</p> <p><2011年>WAM助成による被災地公演、開始</p> <p><2015年6月>文化庁「文化芸術による子供の育成事業」に採択を得、巡回公演、開始</p> <p><2016年5月>一般社団法人として法人設立</p> <p><2017年・18年>台湾・員林／中国・泉州等で和太鼓ワークショップ実施</p> <p><2018年2月>アジアTYAフェスティバルに参加、ドラマチック和太鼓「打」を上演</p> <p><2018・19年6月>中国・杭州国際音楽祭に参加、「大地と海」「忍者狂歡」上演</p> <p><2020年>文化庁文化芸術継続/再興支援事業採択 <2021>Arts for the future！採択</p> <p><2022年>Arts for the future！2採択 厚生労働省社会保障審議会推薦授与 児童福祉文化財「どうぶつ忍者学校」／台湾9都市公演ツアー「ドンドン宇宙太鼓」</p> <p><2023・24・25年>東京都笑顔と学びの体験活動プロジェクト参加「どうぶつ忍者太鼓」</p> <p><2025年>ウィーン・ハンガリーJAPAN DAY「絆-KIZUNA」2025で上演と和太鼓ワークショップ実施</p> <p>★福生市教育委員会表彰受賞 ★全国児童青少年演劇協議会正賞受賞</p> <p>★オラディア国際演劇祭特別審査員賞受賞</p>
	学校等における公演実績	<p>劇団創立3年目から開始した学校公演(芸術鑑賞教室)は、首都圏を中心に年間約25～50ステージの上演を続けてきました。</p> <p><学校公演> (文化庁巡回公演等の支援事業を除く)</p> <p>令和2年度 計 5公演 太鼓ライブ「祝祭」</p> <p>令和3年度 計15公演 太鼓ライブ「水の星」／太鼓ライブ「祝祭」</p> <p>令和4年度 計 4公演 太鼓ライブ「祝祭」</p> <p>令和5年度 計14公演 太鼓ライブ「水の星」／太鼓ライブ「どうぶつ忍者太鼓」</p> <p>令和6年度 計10公演 太鼓ライブ「水の星」／太鼓ライブ「どうぶつ忍者太鼓」</p> <p>令和7年度 計22公演 太鼓ライブ「水の星」／太鼓ライブ「どうぶつ忍者太鼓」</p> <p><その他></p> <p>幼稚園・保育園公演「太鼓で遊ぼう！」「ドドンとへそから」他（年間15～20公演）</p> <p>子ども劇場・おやこ劇場公演「道草ドンどこ」「どうぶつ忍者太鼓」他（年間20～40公演）</p> <p>一般公演／海外公演（年間5～15公演）</p> <p>幼・小・中学校での太鼓指導(ワークショップ)、先生方への講習会 等</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>学校公演の開始以来、関東地方の特別支援学校、聾学校を中心に、学芸大学附属特別支援学校、都立北特別支援学校、横浜市立若葉台特別支援学校、神奈川県立麻生養護学校、京都府立聾学校、富山県立となみ総合支援学校、等で公演。近年では以下の通り。</p> <p>令和3年度 太鼓ライブ「祝祭」 東京都立田無特別支援学校 太鼓ライブ「祝祭」 東京都立羽村特別支援学校</p> <p>令和4年度 「和太鼓ワークわく」 東京都立羽村特別支援学校</p> <p>令和5年度 太鼓ライブ「どうぶつ忍者太鼓」 東京都立羽村特別支援学校</p> <p>令和6年度 太鼓ライブ「水の星」 東京都立羽村特別支援学校 太鼓ライブ「どうぶつ忍者太鼓」 京都府立舞鶴聾学校／東京都立立川学園</p> <p>令和7年度 太鼓ライブ「いちにのドン」 滋賀県立北大津養護学校</p> <p>※特別支援学校等での公演においては、児童・生徒さんの状況や要望を学校ごとにお聞きし、上演時間や上演スタイルなど、個別の対応をしています。</p>
参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/W0O3e7F4IVE https://youtu.be/yiQ2rHgMAkE
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:
		PW:

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人太鼓と芝居のたまっ子座 】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○		
		小学生(高学年)	○	中学生	○		
	企画名	イソップ！民話！音語り…言葉があっても！言葉がなくても？お芝居って面白い！					
	企画のねらい	子供たちは、物語が大好きです。言葉で綴られたものはもちろん、言葉がなくても、動きに、音に、形にも、変化を見逃さず、物語を感じ取り、面白いな、不思議だな、と楽しむ力を持っています。その力が、自らの心を育て、他者と関わり合って生きることの土台を作っていくと考えます。 本企画は、イソップ物語や日本の民話など長い年月を語り継がれてきた作品の他、音がおしゃべりしているようなドラマチックな太鼓や民俗楽器のオリジナル作品等、様々な様式のお芝居を通して、子供たちが想像力を膨らませ心の動きを捉え、自分との共通点や違いを感じ取りながら、自然や人間への興味を深め、社会の中で人間らしく生きる力を培っていくことをねらいとしています。					
	演目概要・演目選択理由	本作品は、お芝居、語りの他、たまっ子座の特色である「音色と形や動きだけで描く言葉のないドラマ」等々の演目がテンポよく進行し、登場するのは、のんびり屋の親子や馬、カラスやカエル、働き者の嫁っこ、貧乏神さま、気のいい若者などなどです。命あるものが互いに関わり合って生きる喜びや、自然を身近に感じ、自然と共に生きる人間にとって大切なことを、子供たちに分かり易くユーモア溢れる展開の中に描いた演目として選択しました。 ★ワークショップ並びに共演の作品も、その視点を持つ大事な演目として、当日プログラムの中に位置づけています。					
	児童・生徒の参加または体験の形態	◆本公演メインプログラムの中盤に、下記の「共演コーナー」を盛り込み、学校のご希望により①もしくは②を実施 ①「風とカミナリ」…ワークショップの課題曲を、たまっ子座の出演者全員との共演として、当日のリハーサルで更にドラマチックな演出を加え、ワークショップ参加者全員で演奏発表します。参加児童生徒の人数、学年や、学校内での授業時間数等との関係によるご希望がある場合、また特別支援校等に向けては、課題曲「ジャンプドン！」(20～80名)を用意しています。 ②「まねっ鼓太鼓」…当日客席から希望する児童生徒数名を選んで舞台上上がってもらい、たまっ子座のリードで太鼓を叩いてリズムを重ね、振りを付け、篠笛や鳴り物の囃子に乗ってその場で演奏を創り上げます。和太鼓の親しみ易さが表現欲求を引き出し、達成感に繋がり、実体験する子供たちにも客席で見守る子供たちにも楽しさが伝わる演目となります。 ◆本公演終了後、共演①参加の児童生徒に向けた「裏方体験」及び「振り返り」の交流を実施。					
	児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	上欄◆①20～60名 ②6～12名			
			鑑賞人数目安	500名程度まで			
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	「いちにのドン」 作・脚本・作曲・演出／末永克行 振付／モトム 「アレアレ何かな」パネルの上に飛び出したのは？音と形の小さなドラマ 「絵本の太鼓」「まわり太鼓」明るくエネルギーあふれるオープニングメドレー 「馬を売りに行く親子」他人の言うことに気を取られてばかりいと…＜イソップ寓話より＞ 「カエル」のどかな水辺のハーモニー 集まって来たのは？ 「楽器紹介」お芝居に登場する日本の太鼓や鳴り物、世界の民族楽器、座のオリジナル楽器などなど ◆共演コーナー…①「風とカミナリ」もしくは ②「まねっ鼓太鼓」 「いいあんばいの幸福」貧乏神と福の神が鉢合わせ…／「すっからカラ助」取り替えっこが続いていって…＜日本民話より一話＞ 「牛と樺の太鼓」そびえ立つ樹の命と躍動する動物の命を讃えて！ ◇アンコール「祝祭」今日出合った命を讃え、華やかに祝う、祭りの太鼓					
	公演時間	80	分				
出演者	末永克行 / モトム / 考 / 末永桂子 / 瀧口早紀 / 小林颯斗 / 丸山田加賜※ / 丸万田みさき※ / 高橋素子※ (※との複数キャスト：岡田健太郎 / ムーラ / 文 / 史乃 / 佐藤落子)						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	末永克行：1944年2月生まれ。東京音楽大学、劇団俳小等を経て「太鼓と芝居のたまっ子座」を創立。役者及び和太鼓・篠笛奏者の立場から演劇表現としての創作和太鼓の可能性を模索、劇作・演出・作曲を続ける。他団体の作曲・指導も務める。 モトム：1984年7月生まれ。7歳で『マドリッド・ラコルーニア第4回国際児童演劇週間』に出演。平成14年度新進芸術家国内研修制度国内研修員。和太鼓演奏に身体的表現、舞踊的表現を独自の感性で盛り込んだダイナミックでユーモアある演技で国内外の小さな子供から大人まで人気を博す。幼児・小学生や教育関係者に向けた和太鼓指導の他、振付も手掛ける。 考：1987年2月生まれ。93年フランス公演ツアーを皮切りに、幼児期より国内外の舞台に多数出演。和太鼓・篠笛演奏の他、作曲・編曲も手掛け、舞台と客席の境なくリアルタイムに観客の思いに触れ、一体感を創り出す言葉掛けには定評がある。						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者：	9	名	運搬	積載量：	1～2	t
	スタッフ：	2	名		車 長：	4.6～5.5	m
	合 計：	11	名		台 数：	3	台

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		有	前日仕込所要時間		2.5	時間程度	
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出	
	8:00	8:00～11:30		13:30～14:50	ナシ	15:00～16:30	16時30分	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。	6月		7月		8月		9月	
	4日		4日				4日	
	10月		11月		12月		1月	
			7日		8日		6日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		33日	
●基本舞台全景：体育館ステージ及び持込み舞台（張出し面積：間口9 m/奥行4 m）      ●基本舞台全景：平土間（専有面積：間口16 m/奥行10 m）        	上演時の様子 ★共演 「風とカミナリ」小学生 ★共演 中学生の演技 ★共演 「ジャンプドン！」 特別支援学校等							
	公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真)							
	※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡							
	著作権、上演権等 の許諾状況				各種上演権、使用权等の許諾手続の要否 該当なし 該当コンテンツ名 該当事項がある場合 権利者名 許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

あり

【公演団体名 一般社団法人太鼓と芝居のたまっ子座 】

ワークショップの
ねらい

和太鼓は、日本の伝統芸能としてのみならず、全身を震わせる響きの魅力で楽器としても世界の注目を集めています。太鼓と芝居のたまっ子座は、その響きや音色、リズム、打ち手の姿を通して言葉のないドラマを描くことを目指し、「自然」をテーマとした太鼓曲を多く創作してきました。

本ワークショップでは、子供たちにも身近な『カミナリ』をテーマに、空が曇りはじめ、雷鳴が轟き、雲の上でカミナリ様と小僧たちが大暴れして雨を降らせる様子を、皆で音と動きに創り上げ、「言葉のない全身表現」「ドラマを演ずる面白さ」を体感することをねらいとしています。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

「風とカミナリ」20～60名 「ジャンプドン！」～80名

ワークショップ
実施形態及び内容

たまっ子座の創作曲を課題曲として進めていきます。 ※別添 ワークショップ「風とカミナリ」

「風とカミナリ」

・所要時間:95分目安 ・会場:体育館 ・参加児童生徒:希望する学年全員

・太鼓をはじめ使用する楽器類(鳴り物)や用具は、たまっ子座が持参(太鼓・大小20台程度)

・人数が60名を越える場合や低学年での実施、また特別支援学校等に向けては、下方の特記事項をご参照ください。＜課題曲「ジャンプドン」を用意しています＞

●ワークショッププログラムの流れ

1) たまっ子座の講師たちの自己紹介を兼ねた太鼓演奏で楽しく幕開き

2) 「一発三発」希望者3名ほどを選んで、先ずは自由に叩いてみようのコーナー

3) 「太鼓体操」太鼓を全身で叩くための準備運動をリズムに乗って

4) 「太鼓の言葉」太鼓のリズムは、楽譜を使わず「口唱歌」で覚えます。短いリズム作りに挑戦。

5) 課題曲のリズムを、少しずつ区切って、口唱歌として声に出しながら太鼓を打ち、全身で覚えていきます。リズムに合わせてジャンプや回転、力こぶといったカミナリの振付を加えていきます。

6) ひと通りのリズムが手に入った頃、講師たちによる演奏を観て、「風とカミナリ」の曲全体のイメージを上げます。

7) 今回登場する様々な楽器について、歴史や奏法、表現のポイントを紹介

8) 児童生徒の希望に添って、太鼓や銅鑼や鉦、竹ボラ、雨瓢箪等で演奏演技する役、雲旗で走り回る役に分かれ、其々劇団員と共に稽古を進めます。

9) 最後に全員で、黒雲が湧き雷鳴が轟き、稲光や降り出す雨の様子を一つの流れとして想像し、通し稽古をして本番前の最終リハーサルに備えます。

10) ワークショップの感想や質問を出し合って、振り返りします。

●自主練習

「風とカミナリ」の内容について個人やグループで復習ができるよう、各パート毎のリズムや動きの見本動画の限定配信URLをお伝えします。ご活用ください。

●本番当日

ワークショップ参加の児童・生徒の皆さんには、公演本番プログラムの前半、観客としてたまっ子座の演目を楽しんだ後、中盤の共演コーナーで、全員衣装を着け、たまっ子座の出演者と共にワークショップの成果を披露していただきます。

また本番終了後、楽器や小道具、照明等の「裏方体験」として片付けにも可能な範囲で力を発揮してもらい、その後、感想や質問を出し合って交流し、振り返りします。ワークショップから本番終了までの心の変化や、演奏した楽器のこと、一緒に演じた友だちの様子、次の目標などなど実感を込めた積極的な発言が多く出され、先生方も驚かれるほどで、全身で体感し表現するワークショップからの一連のまとめと位置づけています。

★「風とカミナリ」の共演に関しては、本公演当日に最終リハーサルが60分程度必須となります。年間の授業時間数との兼ね合い等もあるかと思うので、参加学年決定に向けた事前の打ち合わせを必ず行なわせていただきます。

その他ワークショップに
関する特記事項等

●課題曲「ジャンプドン！」

弾んだリズムと楽しい振り付けを皆で全身で体感する課題曲です。ワークショッププログラムの流れは、「風とカミナリ」とほぼ同じです。曲を構成するリズムや振りが少なめになっており、ワークショップの時間内に発表の太合奏とまとめの振り返りまでを行います。(本公演当日のリハーサル、共演はありません。)

●特別支援学校等への対応

たまっ子座の舞台は、音だけでなく視覚的にも楽しめるよう、お芝居やパントマイムの要素をふんだんに盛り込んだ演出が基本となっていますが、特別支援学校等ではワークショップの折にもその特徴を生かし、「ジャンプドン！」のリズムをベースに、プログラムに自由体験を盛り込んだり、視覚的要素や聴覚的要素を増やしたり、時間配分の調整や内容の部分的な差し替え、変更等先生方のご要望を伺いながら、子供たち一人一人が関わり楽しめる内容に創り上げていきます。学校からのご希望により、本公演メインプログラムの中に衣装を着けた子供たちによる発表を盛り込むこともご相談に応じます。

●本公演メインプログラムの共演コーナーは、当日の客席からその場で希望者数名を募って劇団員と一緒に演奏する形式の「まねっ鼓太鼓」を盛り込んでおり、ワークショップの課題曲とは別になります。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添

なし

【公演団体名 一般社団法人太鼓と芝居のたまっ子座 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
会場の設置階の制限	2F以上応相談		主幹引き込み電源容量		60 A以上
舞台設置面積	間口	18 m	奥行	8 m	
	高さ	指定なし	m		
舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応		可
搬入間口の広さ	幅	1.8 m	高さ	2 m	
遮光の要否	5割程度必要		緞帳の要否		有無のみ確認したい
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		要
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		15 m以内
搬入車両の種類	中型トラック		台数	T1,W2 計3台	台
搬入車両の大きさ	車幅	1.7 m	車長	5.5 m	
備考	上記には基本的な必要条件を記載しています。体育館ステージの広さ等、条件を満たしていない場合でも、各学校の状況に応じた対応を考えます。(ステージ上にピアノがある場合、袖奥への移動をお願いすることがあります。)				

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否		
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	1回5分程度を可能な範囲で複数回	随時(休み時間や自宅での練習等を想定)	和太鼓、その他の楽器のリズム練習	団体作成の練習用動画(限定配信)をご覧になれます。
ワークショップ						
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	60分	本公演前	共演演目①「風とカミナリ」の当日リハーサル	ワークショップで「風とカミナリ」を選択された学校の対象学年の児童生徒全員	
本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	20分～30分	本公演直後	裏方体験(共演で使用した楽器や衣裳の収納手伝いや、たまっ子座の出演者たちとの振り返り(共演の感想・質問交流))		

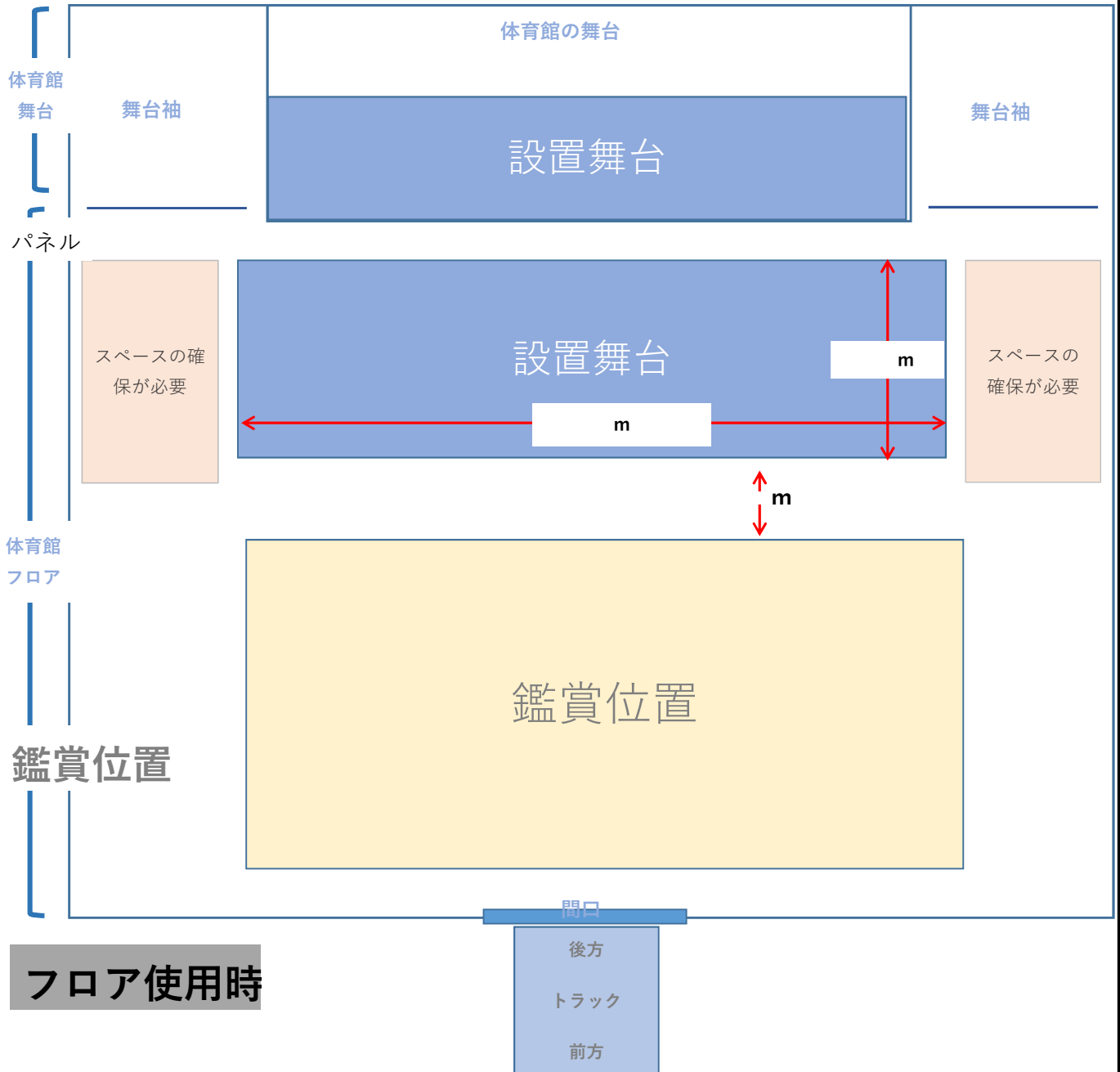
個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。
		個別ヒアリング事項
	1	ワークショップの内容、及び舞台設営の参考として、各学年各クラス毎の児童数・生徒数をお知らせください。
	2	
	3	

(任意)

会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。

※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

なし

【公演団体名 一般社団法人太鼓と芝居のたまっ子座】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

本事業が、義務教育の現場に舞台を届け、地域や生活環境、文化環境の差異を超え、日本の全ての子供たちに文化芸術との出会いを作るという点で大変意義深く、大きな役割と責任を担っていると感じます。また、本公演前のワークショップの実施は、専門性と具体性を活かした取り組みを通して、子供たちが観る・聴くだけでなく、自ら表現し作品を創り上げていく楽しさを体験し、表現への意欲を膨らませ、自分の思いや考えを発信していく力、他者とコミュニケーションし協働する力を身につけ、自由で創造的な心と体を育てていく場として、期待し、私たち自身も創造性を発揮して臨みたいと考えています。

たまっ子座は、1985年の創立以来、伝統の和太鼓や篠笛の持つ響きの美しさ、力強さ、農耕民族の願いや喜びの思いを土台に作品を創造し、上演活動が続け、ヨーロッパや北米、アジア等海外公演の経験は、国際社会の中で自国の文化・伝統に根差した創造的な表現を交流し合い、互いの理解を深めることの重要性を痛感するものとなり、自然と人間の共存、持続可能な社会の在りようが問われている現代に、日本の子供たちが命の素晴らしさや大切さを感じ、考え、世界へ発信する存在に育っていくことを心から願って、本事業に力を尽くしたいと思います。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

舞台は、人間の溢れるエネルギーや全身を揺さぶる音色、登場人物や演者たちの個性豊かな生き様に直接触れる場であり、その出会いが子供たちにとって日常生活では得難い体験として残っていくことを強く実感しています。多機能端末の活用やAIとの向き合い方が重要な課題となっていく時代であればこそ、子供たちに直接向き合い、『生の体験』の実現に向けて、以下を実施しています。

- ①…子供たちがより身近に鑑賞できるよう観客数に対応した会場作り…「張り出し」あるいは「平土間」の舞台設営
- ②…お芝居の効果音を含め、全て客席の子供たちの目の前で創り出す、生音の臨場感溢れる音楽表現
- ③…観る聴くだけでなく、直接舞台に関わり、参加し、共演して、心身ともに実体験を刻むことのできるプログラム進行

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

学校内の体育館を日常とは違う体験の場、「劇場」という芸術空間に変え、質の高い公演を届ける為に、先ず実施校で担当をしてくださる先生方との丁寧な連携をと考えています。ご連絡や打ち合わせは、お電話、及び書面（メールもしくはFAX）でのやり取りを基本としています。

- ①…地域や規模により異なる学校の状況や特色をお電話で伺い、情報の共有に努めます。
- ②…たまっ子座作成の資料にて、作品の個性や魅力、特色等を写真・動画も含めより立体的にお伝えし、実施時期の選定、当日までの流れの参考にしていただけるよう考えています。
- ③…ワークショップに関しては、参加する児童生徒の人数や学年の選定、他行事の実施時期等との関連、時程の設定等に関して、個別にご説明・ご相談させていただいています。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

●体に響き心を揺る和太鼓の演奏や身体表現の面白さが随所に盛り込まれたお芝居は、年齢や国籍、言葉を越えて楽しむメインプログラムの基本的な流れを作っていますが、特別な配慮が必要な児童生徒の皆さんへは、担当先生と相談の上、オンライン視聴他、学校内での可能な対応に協力させていただきます。●「共演」に関しては、より密度の濃い対応をとの考えから、ワークショップの内容説明・打ち合わせの段階で、参加希望学年の総数や年齢を考慮した課題曲の選択をお願いしています。●特別支援学校や聾学校等での上演に関しては、担当先生から児童生徒さんの障害の内容や学校での様子を伺いながら、ご希望の時間運びに沿ったプログラム立てを検討し、ワークショップに関しては、課題曲を土台に一人一人の個性を生かした構成となるように進行していきます。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

鑑賞後にいただく感想文には、子供たちの楽しかった思いがそのまま文字や絵に溢れ、ワークショップから本公演の共演までをやり通した学年からは、緊張感から達成感に至る心の変化や、共に頑張った級友の様子、皆で一つの舞台を形作った喜びなどが綴られ、その思いを「手紙」を書く授業に取り入れてくださった学校や、一人一人心に残った事柄を「短歌」の授業で歌に詠んで送ってくださった学校など、自己表現の継続的な学びに繋がったご報告をいただくことも度々です。子供たちの成長に向け先生方と思いを共有し、学校生活の流れの中へバトンを渡せたことは大変嬉しく、一過性に終わらない芸術体験の発展的な効果を実感しています。

リンク先

No.3-①

【公演団体名 一般社団法人太鼓と芝居のたまっ子座】

ワークショップ「風とカミナリ」

参加者全員で太鼓を体験、楽器に慣れ親しんだ後、リズムを覚えていきます



リズムを覚えた後、それぞれ希望する役に分かれて練習をします
(演奏を伴うカミナリの役と、舞踊的表現が中心の風の役に分かります)



ワークショップ
実施形態及び内容

約90分のワークショップの中で共演シーン「風とカミナリ」が形になっていきます。
その後、公演当日までは動画資料などを元に復習をしていただき、公演前の60分間最終リハーサルを経て本番の共演となります。

